(様式第３号)

SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

作成日：令和3年8月12日　　企業･団体名：学校法人龍馬学園

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場･社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ･性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		採用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しないリベラルな組織風土を構築している。				4.4	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ･セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール･教育･相談体制を整備している	●		ハラスメント禁止を就業規則に明記し、相談窓口を設置している。 高知市の男女共同参画推進企業として表彰されている(令和3年度)。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1	
	3	【ワークライフバランス】 ･男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		有給休暇は時間単位で取得できるよう就業規則に明記しており、効率的な働き方を実現している。								8.5 8.8								
	4	【外国人労働者】 ･外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		外国人労働者については、リベラルな組織風土の中で職場を構成しているメンバー間で相互に尊重しあえる体制が出来ている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3						
	5	【労働安全衛生】 ･業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		職場での労働災害が発生するのを防止するため、設備や環境に配慮している。			3					8								
	6	【メンタルヘルス】 ･労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●		年に一度ストレスチェックテストを全職員に実施し、メンタルヘルスの安全を維持する体制を維持している。			3													
	7	【ダイバーシティ経営】 ･多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		多様な人材が活躍できる社内体制を構築している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						
	8	【人材育成】 ･適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		定期的に教員研修を実施するほか、新入職員研修、模擬授業の実施等の教務及び業務能力向上のための研修体制を整備している。				4	5.5			8	9							
	9	【公正な待遇】 ･雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		働き方改革関連法による有給休暇の取得促進などは、行政が定めるものより早期に着手して公正な待遇を維持している。					5.5			8.5		10.2 10.3						
	10	【健康経営】 ･従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる		●	全教職員が、生涯学習健康センターキラヴィのトレーニングルームを無償で利用できる福利厚生制度を設け、教職員の健康増進を奨励している。			3					8								
	11	【新しい生活様式への対応】 ･新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している		●	ウェブ会議を積極的に導入している。 時差出勤やテレワークを奨励している。			3					8	9.1		11	12				
	12	【デジタル化の推進】 ･労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ･アフターコロナ時代における社会･経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している		●	校務管理システムを導入して、クラウド化を推進している。								8	9.1		11	12				
環境	13	【廃棄物】 ･廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		浄水サーバーを導入してペットボトル飲料の販売を中止し、ペットボトル廃棄削減に取り組んでいる。											11.6	12.4		14.1			
	14	【エネルギー】 ･電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		LED導入を検討し、省エネ化を進めている。							7.3						13				
	15	【温暖化対策】 ･自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		スーパークールビズ、エアコン温度設定の適正化に務め、温暖化対策に取り組んでいる。							7.2 7.3					12.4	13.3				
	16	【有害化学物質】 ･法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●		学校運営を行っているので、有害化学物質は原則使用しない方針である。			3.9			6.3					11.6	12.4					
	17	【生物多様性】 ･自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		環境に配慮した製品･サービスを極力導入して、生物多様性に影響を与えないよう努めている。						6.6									15		
	18	【３Rの推進】 ･ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●		環境に配慮した製品の導入に務め、再利用を推進している。デジタル化を推進して、ペーパーレス化を進める構想を持っている。												12.5		14.1			

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目															
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる		●	可能な限り、リサイクルのトナーの使用を推進している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2
	20	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる		●							6.4 6.6											
	21	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している		●				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	22	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している		●													12.6					
	23	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる		●								7.2						13				
	24	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●													12.2	13	14	15		
	25	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる		●	調理系学科でフードロス削減に取り組んでいる。	1	2				6.4						12.3 12.5		14	15		17
公正な事業慣行	26	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●		コンプライアンス等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている。																16 16.5	
	27	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		学校法人として公正な取引に務め、全教職員にその重要性を発信している。																16	
	28	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●		著作権等に関する業界団体等のセミナーに参加するなどして、侵害防止の社内啓発を図っている。								8.2 8.3	9								
	29	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●		校務運営システムを導入しクラウド化することで、個人情報保護を強化している。																16	
	30	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		●																	16	
	31	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
製品・サービス	32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している	●		教務に関するPDCAの体制を構築することを意識して取り組んでいる。			3.9									12.4					
	33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	●		原則として毎月、幹部による学校品質向上委員会を開催し、教育の質向上に取り組んでいる。									9								
	34	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）	●		備品等の購入にあたっては、環境に配慮した製品の購入を心がけている。						6						12	13	14	15		
	35	【木質化の取組】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している		●							6.1 6.6	7				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している	●		国際理解教育の推進、地域清掃活動の実施、ヘアードネーションの実施などで、地域への貢献活動を実施している。				4					9		11	12		14	15		17
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		●	献血活動の奨励、学生のボランティア奨励、学園内の寄付活動など積極的に社会貢献活動に取り組んでいる。				4							11			14	15		17
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている		●									8	9		11	12					
組織体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している	●		コンプライアンス等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている。																16	
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している	●		経営理念を明文化し、理事長は学園のあるべき姿を教職員に説明・共有している。								8	9								17
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		担当者を任命している。																16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		定期的に学生アンケートを実施して、双方向コミュニケーションに務めている。																16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		●																	16	
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している		●	リスクマネジメントについては、全国専門学校研究会で定期的に同業者間で勉強会に参加している。																16	
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		●	HPで、学園の様々な取り組みを適時公開している。																16	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型感染症などに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる		●										9		11		13 13.1			16	
	48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
持続可能な社会・地方創生	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている	●		定期的に避難訓練を行っている。				4							11.5		13.1			16	
	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている		●	HPで、学園のSDGsに関する様々な取り組みを適時公開している。 各学校・学科で、SDGs関連の取り組みを遂行することで、学生への教育に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、UIターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している		●	地元就職率が非常に高く、伝統的に地域の中核人材の卵を育成している。				4.4				8.5 8.6									17
	53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している		●									8	9		11						